

佳作

ポツンと一軒家 ～自作 ログハウスに住むIT社長～



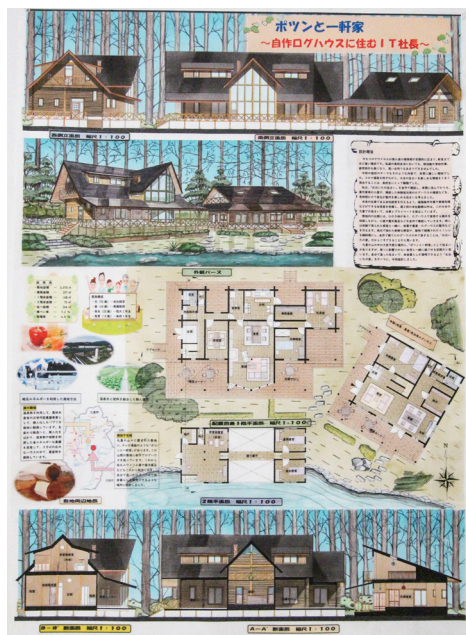
大分工業
森 音凜

設計主旨

今回の設計テーマは、非常に難しい題材でした。私は、「おおいたの住まい」を自作で建設し、実際に住んでからも、長時間かけて家主が制作を楽しめる住まいを考えました。

本来の仕事である会社経営を行えるよう、遠隔操作作業や事務処理などができる社長室を完備し、週2回の本社勤務以外は、この大分の九重での住まいで、仕事とプライベートを両立しています。

敷地内の北側には、ヒノキ林があり、ログハウスで使用する樹木を伐採しながら、小屋や露天風呂などを自作で建設していきます。時には体験で来られた家族と一緒に、林業や農業、ログハウスの製作などを行います。地元で採れた新鮮な野菜や、



駆除で捕獲されたイノシシを鍋料理にし、自作で建てたログハウスの中で食することは、「おおいたの家」だからこそできることだと思います。

九重の山の中の大変不便な場所に、「ポツンと一軒家」として住まいがありますが、周りに影響されない自然と一緒に過ごせる空間だと思います。自分で造った住まいで、田舎暮らしが満喫できるよう「おおいたの家」をテーマに、今回設計しました。